

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 24 日現在

機関番号：32685
 研究種目：基盤研究(C) (一般)
 研究期間：2012～2015
 課題番号：24520182
 研究課題名(和文) 戦後グラフィックデザインに関するオランダと日本 その関係と国際性について比較研究

 研究課題名(英文) A comparative study about the relations and internationality of Netherlands and Japan in the graphic design after World War II.

 研究代表者
 西村 美香(nishimura, mika)

 明星大学・人文学部・教授

 研究者番号：60352928

 交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文)：1950年代から現代にかけてのグラフィック・デザインにおける国際的広がりを調査する研究である。今回はオランダに焦点をあて、オランダと日本、そしてオランダとヨーロッパの比較をすることで、現代の発展したグラフィック・デザインの歴史的背景をあからさまにすることに力を注いだ。日本国内はもとより、オランダ・スイスには現地に赴き、関係資料の収集に努めた。

図書出版としては2件で、展覧会図録と美術全集。雑誌論文としては大学紀要および学会誌に4件、学会発表は意匠学会にて1件。その他、関連展覧会開催として2件、ディック・ブルーナ展とスイスデザイン展。市民講座開催として八王子いちよう塾での講演が1件である。

研究成果の概要(英文)：It is a study to investigate the international expanse in the graphic design from 1950s to the present age. This time I focused on the Netherlands, and compared Japan and the Netherlands, and Europe with the Netherlands. I thereby succeeded in doing the historic background of the modern graphic design which developed openly. Including Japan, I proceeded to the field to Netherlands, Switzerland and tried for the collection of documents concerned.

Book publications are 2; the Exhibition catalogue and the Complete series of Art. Journal articles are 4; for university bulletins are 3, and for official journals of a scientific society is 1. Presentation at the meeting, it is one case in The Japan Society of Design. Others: exhibition planings are 2; Dick Bruna Exhibition and Swiss Design Exhibition. The lecture in the Hachioji icho school as civic lecture holding is 1.

研究分野：デザイン史

キーワード：国際比較 編集デザイン 広告デザイン データベース構築 オランダ 日本 ヨーロッパ デザイン史

1. 研究開始当初の背景

(1)今や国際的な広がりをもって発展する情報デザインの分野であるが、そうしたグローバル化の端緒はどこにあるのか。またそれをふまえて、地理的歴史的に異なる文化の成り立ちを超えて国際的規模で発展する現代デザインの状況をあからさまにするというのが本研究のはじめにある。それをデザインの歴史をとともに専門とする研究代表者西村美香と分担者今井美樹によって、今日、とみに発展の著しいオランダに焦点を当て、オランダと日本、オランダとヨーロッパをそれぞれ比較することによって解明しようとする試みである。

(2)先行研究として、代表者西村はオランダの比較として取り上げる日本のグラフィック・デザインについては明治から1970年代までの歴史研究をすでに30年以上に渡って続けており、多数の著書と論文がある。オランダのデザインについても科学研究費申請以前にすでに日本出版学会や明星大学紀要に数件の論文を投稿している。また所属大学明星大学には研究資料となる第一次資料である1950年代から70年代にかけて発行されたオランダの冊子「クワドラ・プリント」が全冊揃いで保管されているつまり調査対象を手元に所蔵しているというのも動機であった。それらを受けての継続的かつ発展的研究である。

(3)分担者今井美樹は、前職のサントリーミュージアム天保山学芸員時代の2007年度より、科研費補助申請に先立ってすでに「美術館に行こう！-ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方-」展の企画にたずさわり展覧会図録も監修・執筆を行っていた。オランダのデザイナーディック・ブルーナ氏への取材やインタビューもしており、この先行研究の蓄積があって、当研究の分担者として加わった。さらに科学研究費申請時点においてもこの展覧会は各地を巡回しており今井はその都度、キュレイトおよび図録の監修を行っている。また今井は堺市のミュシャ美術館のディレクターもつとめ、フランスのグラフィック・デザインについてもかなりの先行研究が進んでいた。

2. 研究の目的

(1)地理的歴史的に異なる文化の成り立ちを超えて今やグローバルに発展する現代デザインの状況の一端をあからさまにするため、オランダを中核に、それと日本との関係、およびそれとヨーロッパの関係を解き明かそうとする試みである。

(2)それには日本に少ないオランダデザインの第一次資料(いわゆるポスターや雑誌などデザインの実物が分析できる現物)の発掘と収集、またオランダデザインに関する文献の

収集およびそれらの日本語への翻訳がまず第一の目的である。

(3)つぎに収集した第一次資料をデジタル化して他の研究者も利用できるようなデータ・ベースの構築を行うことが第二の目的である。

(4)最後に研究した結果を専門家である研究者と共有するため学会発表はもちろんのこと、一般の人たちにも展覧会や講演会を開催して知ってもらいデザインの啓蒙に寄与したい。

3. 研究の方法

(1)1950年代より現代に至る、オランダ・日本・ヨーロッパ(主にフランス・スイス・デンマーク)のグラフィック・デザイン(編集デザイン・広告デザインなど)に関する第一次資料(ポスター、雑誌、書籍などの実物)と文献の発掘、調査および収集のため、日本国内(主に東京・大阪・名古屋・新潟・福島)の美術館・博物館、国会図書館・大学図書館、および個人コレクターにまでコンタクトをとって情報収集に努めた。海外への調査はオランダ(アムステルダム・ユトレヒト・エントフホーヘンなど)およびスイス(チューリッヒ・バーゼルなど)の美術館を中心に赴いた。

(2)文献および資料は海外のものはほとんどが現地語もしくは英語であるので、できるだけ英語版のものを探しだして日本語に翻訳した。

(3)画像(西村は冊子「クワドラ・プリント」とそれと同時代の日本人デザイナーの作品、今井は大阪市近代美術館準備室所蔵のオランダおよびヨーロッパポスターなど)は、デジタル化して、その後作品名、制作者、制作年、デザイナー名、サイズなどを添付してデータとして整理そしてデータ・ベースを構築した。

4. 研究成果

(1)研究代表者西村美香は主に編集デザインに関してオランダと日本の関係を調査し、1950年代にまだ海外渡航が自由化されていない時代の日本のデザイナーたちの欧米との接触、その文化の日本流咀嚼について研究しあからさまにした。

(2)関連文献のうち“Brattinga's Planning for Industry, art & education”を日本語翻訳する。翻訳は明星大学大学紀要に投稿済みである。

(3)大学所蔵のデザイン資料、冊子「クワドラ・プリント」は八王子市市民講座で実物を公開しともに講演を行い一般へのデザイン啓蒙に寄与した。

(4)冊子「クワドラ・プリント」は文献複写し

デジタル・データとして整理し、データ・ベースを構築してある。

(5)日本のデザイナーらの動きを一部まとめて「日本美術全集 17 前衛とモダン」に解説として著した。

(6)同じく日本のデザイナー山名文夫について群馬県立館林美術館にて講演を行った。また同館開催の「山名文夫とアール・デコ」展においては展覧会図録に執筆した。

(7)研究分担者今井美樹は2016年度の現在においても「美術館に行こう！-ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方-」展の巡回の企画、展覧会図録にたずさわり、継続して活動を行っている。

(8)また今井は調査研究の対象をスイス、デンマークに広げ2014年度にはその成果をまとめ意匠学会で口頭発表を行った。

(9)ついで同年度末には「スイスデザイン」展の企画、図録制作および執筆にかかわり、本展覧会は2016年度現在も継続して巡回展覧されている。

(10)補助事業期間には間に合わなかったが、デンマークのグラフィック・デザインについても調査を進行中で、2017年度に企画会社アルティスをはさんで「デンマークデザイン」展を計画、企画準備中である。

(11)「オランダのポスター1960-1996」を翻訳し大阪工業大学紀要に投稿した。

(12)研究対象の編集デザインに関する理論を実際のデザイン作品としてかたちにするようになるかという試みで、大阪工業大学・工学部・空間デザイン学科の学生を対象に、自主制作としてB6冊子(48頁)「ヴィジュアルデザイン演習 II」、A6冊子(32頁)「総合デザイン演習 II」を毎年制作させている。理論を実践する試みである。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 4件)

西村美香、Brattinga's Planning for Industry, art & education 抄訳、明星大学紀要人文学部、査読有、52巻、2016年、pp.97-107

今井美樹、スイス・デザインの100年-グラフィック・デザインを中心に-、デザイン理論、査読無、66巻、2015年、pp.80-81

DOI:http://hdl.handle.net/11094/5638

9

今井美樹、抄訳オランダのポスター1960-1996、大阪工業大学紀要人文社会編、査読無、58巻2号、2014年、pp.37-42

西村美香、Brattinga's Planning for Industry, art & education 抄訳、明星大学造形芸術学部研究紀要、査読無、21号、2013年、pp.19-20

〔学会発表〕(計 1件)

今井美樹、スイス・デザインの100年-グラフィック・デザインを中心に-、意匠学会、2014年11月29日、京都精華大学(京都府京都市)

〔図書〕(計 2件)

梶尾里佳、橋本優子、今井美樹、福土理、林美佐、村上敏、(株)キューレーターズ、スイスデザイン展、2015年、pp.114-135
北澤憲昭、森仁史、藤井素彦、滝沢恭司、足立元、ジェニファー・ワイゼンフェルド、天野一夫、三頭谷鷹史、西村美香、他、小学館、日本美術全集 17 前衛とモダン、2014年、pp.269-272,p.276

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等 なし

6. 研究組織

(1)研究代表者

西村 美香 (NISHIMURA, Mika)
明星大学・人文学部・教授
研究者番号：60352928

(2)研究分担者

今井 美樹 (IMAI Miki)
大阪工業大学・工学部・教授
研究者番号：80460765

(3)連携研究者

なし()

研究者番号:

(4)研究協力者

青木 典子 (AOKI Noriko)